

Imagry と豊田通商、日本での自動運転公共交通の実証に関する協業に合意

- L4 対応の自動運転バスによる実証実験に向けた協業
- 関連のソフトウェア、ハードウェア、サポートを含む自動運転による次世代公共交通（APTS）の実現可能性を実証するパイロット（実証実験）
- 実証実験が成功した場合、日本国内の公共交通事業者（PTO）に対し、将来的な認証取得を見据えた形で、バスとシステムが完全に統合され、実証実験を通じて検証された自動運転バスの提供を目指す

2025 年 12 月 23 日 — 米国カリフォルニア州サンノゼおよび日本・東京 —

現実世界で駆動するリアルタイム AI ベースのシステムを提供する Imagry（イマジリー）は本日、多様な事業を展開するグローバル総合商社である豊田通商株式会社（東証：8015）は、日本において Imagry の自動運転システムの運用実現性を検証するためのパイロット（実証実験）に向けた取り組みを進めることを発表した。

実証が成功した場合、Imagry はこの完全統合型バスプラットフォームを、全国の公共交通事業者および自治体に提供し、安全で信頼性が高く、持続可能な公共交通ソリューションに対する高まる需要に応えていく。

日本で深刻化するバス運転手不足

現在、日本ではバス運転手が必要人員の約 20%不足している。[公益社団法人日本バス協会](#)の推計によれば、2030 年度にはその不足数が約 3 万 6,000 人にまで拡大する可能性がある。

Imagry の自動運転バスは、この課題に対する有効な解決策である。運転手不足の状況下においても、車両数の拡大、運行エリアの拡張、運行本数および運行時間の増加を可能とする。これにより投資収益率（ROI）が向上し、移動の公平性の確保、利用者満足度の向上、環境負荷の低減、さらには道路渋滞の緩和にも寄与する。

実証される自動運転バスの主な特徴

本パイロットでは、全長 6.9 メートルの電動 eVersum midi-bus を採用した。最大 38 名（車いす利用者 1 名を含む場合は 32 名）の乗車が可能である。

ソフトウェアおよびハードウェアの搭載、統合・実証は、標準的な製造工程の一環としてバス製造工場内で実施される。その結果、公共交通事業者（PTO）には、即時運行可能な完全統合型バスが提供される。

Imagry は、導入しやすい自動運転バスプラットフォームを確立

本実証ルートは、公共交通事業者（PTO）が現在運行している既存のサービスエリアと整合させた形で設定され、バス停を備えた上で、一般車両が混在する公道において実施される。信号機や道路標示も多様な環境下で行われ、全国各地の公共交通事業者が現地を訪れ、実証される自動運転技術を実際に体験することが可能である。

Imagry の CEO である EranOfir は、次のように述べている。

「豊田通商と協業し、日本において Imagry の自動運転ソリューションの公共交通市場での活用可能性を検証できることを光栄に思う。実地で検証された Imagry の AI ベースのソフトウェアと、豊田通商の幅広い産業・官公庁ネットワーク、そしてプロジェクト推進における豊富な知見を組み合わせることで、日本の公共交通が直面する課題に対する不可欠な解決策を提供するとともに、日本を世界における公共交通イノベーションのリーダーへと位置づけることができると確信している。」

豊田通商株式会社について

1948 年創業、日本・名古屋市に本社を置く、グローバルに事業を展開する商社兼投資会社であり、トヨタグループの中核企業の一つである。世界 150 以上の拠点と 900 社を超える連結子会社を有し、約 6 万 9,000 人の従業員が、金属、モビリティ、エネルギー、化学品、エレクトロニクス、食品、ライフスタイルなど多岐にわたる分野で事業を展開している。

東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しており、責任ある事業活動とグローバルな協業を通じた価値創造に取り組んでいる。

[豊田通商公式サイト](#)

Imagry について

2018 年より AI ベースの自動運転アプリケーションの開発を行っている。同社のプラットフォームは、HD マップを必要としないビジョンベースの自動運転を実現する点を特長とする。2019 年以降、米国、ドイツ、日本、イスラエルの公道において導入されており、リアルタイムかつ特定のハードウェアに依存しないアーキテクチャにより、さまざまなプラットフォームとシームレスに統合可能である。これにより、自動車メーカー、公共交通事業者、OEM に対し、コスト効率が高く、量産対応可能な L3 および L4 自動運転ソリューションを提供している。本社は米国カリフォルニア州サンノゼに所在する。

[Imagry 公式サイト](#)

Imagry と豊田通商、日本での自動運転公共交通の実証に関する協業に合意

プレス連絡先

Imagry

ルース・ブリッジャー

マーケティング・ディレクター

電話：+1 (323) 238-3912

メール：ruth.bridger@imagry.co

Imagry

常住陽水

日本マーケティング担当

電話: +81 90 1145 6194

メール: Yosui.Tsunezumi@imagry.co